

拝啓

紅葉の美しい季節となりました。皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。これまで三十五年間の長きに渡って、当会にご理解ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

当会は定款の定めによる存続期間満了によって、令和五年三月三十一日をもって解散し、この度残余財産全てを、次世代を担う子どもたちの教育のために使っていただくことを希望して高松市に寄付し、令和五年十月二十八日に清算結了いたしました。

思い返せば、故倉岡ミスエ先生の遺言により、昭和六十三年六月二十七日に、当会は財団法人倉岡奨学会として発足し、今日に至るまで、香川県内の大学で学んでいる留学生延べ二六五人に奨学金を給付し、住居を無料で提供してまいりました。ここ十年程はそれに加えて、香川県内に所在する発展途上国の教育を支援している団体を通して、ラオスやカンボジアの大学生たちに奨学金を給付してまいりました。また、東日本大震災後四年間を限度として福島県・宮城県出身の大学生に奨学金給付の事業もさせていただきました。その間、平成二十二年に新法のもと、公益認定を受けて公益財団法人となり、今日に至るまで公益目的事業を継続してまいりました。これもひとえに関係各位の熱意とご尽力によるものと、心より感謝いたしております。また、各位におかれましては無報酬にて、学生の方々のためにと、崇高な志をもって活動してくださいましたことに深く敬意を表します。

当会は今、留学生等のための奨学金給付という役目を終え、お預かりしていた財産が、今後は故倉岡ミスエ先生が生涯教鞭をとってこられた高松の地で教育支援の一助として役立てられますことを切に願ってやみません。

最後になりましたが、皆様方の今後のご活躍とご健康を祈念しつつ、略儀ながら書面にてご挨拶申し上げます。

敬具

令和五年十月二十八日

公益財団法人倉岡奨学会

代表清算人 井下真代